

# 会 議 録

## 1 会議名

平成27年度第7回津有区地域協議会

## 2 協議事項

○地域協議会と町内会長との意見交換会について（公開・非公開の別）

(1) 意見交換の詳細（進行順序・発表者等）について（公開）

(2) 自主的審議につなげるための現状分析のまとめ（公開）

## 3 開催日時

平成27年11月27日（金）午後6時30分から午後8時

## 4 開催場所

ファームセンター 1階 農事研修室

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：太田晃、小川和夫、手嶋千恵子、服部香代子、平岡一夫、古川三男

牧野嶋剛(副会長)、町田敏章(会長)、丸山美和子、丸山百合子

(欠席5人)

・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、恩田係長

## 8 発言の内容（要旨）

### 【恩田係長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【町田会長】

・挨拶

### 【恩田係長】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により会長に議長を委任

**【町田会長】**

- ・会議録の確認：平岡委員に依頼

協議事項の(1)、「意見交換会の詳細（進行順序・発言者等）について」事務局に説明を求める。

**【恩田係長】**

- ・資料No.1により説明

**【町田会長】**

今の説明について質問を求める。

(質問なし)

資料No.1の4の(1)、「開会」については記載されている方々にお願ひする。

(2)の「平成27年度津有区地域協議会の活動報告」について、どなたにお願ひするかを決めたい。(3)の「雄志中学校の生徒との意見交換について」は牧野嶋副会長が青少協の関係で雄志中学校の生徒を指導しながら活動しているため、牧野嶋副会長にお願ひする。

(2)の「委員視察研修について」は、11月13日の研修に行かれた方に報告いただきたい。「①地域活動支援事業」については、今迄審査したこと等について発言いただきたい。(1)と(2)はそれぞれ2人程度決めたいと思う。

先ず「②委員視察研修について」決めたいと思う。視察研修に行かれた方で、発表して下さる方がいたら挙手願う。

**【古川委員】**

視察後に委員の皆さんが書いたアンケートの結果から、意見をいくつか取り上げて発表したらどうか。

**【町田会長】**

補足のような格好で事務局から報告してもらおうと思う。しかしながら、実際に行かれた方からも生の声を聞かせてもらえればと思う。女性1人、男性1人にお願ひしたい。

(発表者の調整)

それでは、小川委員と手嶋委員にお願ひする。

次に地域活動支援事業の発表者を2人決めたい。男性1人と女性1人にお願ひする。

(発表者の調整)

**【町田会長】**

地域活動支援事業については、牧野嶋副会長からは「あいさつ運動」について、また、草間委員から「紙芝居」で話す方の都合がつくのかどうかも含めて打合せをしていきたいと思う。

次に、(3)の「自主的審議につなげるための津有区の現状分析の結果報告」は私から報告をする。

(4)の「意見交換会」は、主に我々が行ってきた自主的審議について、町内会長の認識と我々の認識がそろっているのかどうか。ずれているということになれば、修正していかなければいけないため、(3)と(4)で刷り合わせをしていきたい。

他に意見などあるか。

(意見なし)

協議事項の(2)、「自主的審議に繋げるための現状分析のまとめ」ということで、これまで何回かやってきた津有区の自主的審議事項を町内会長に報告できるよう、まとめていきたい。そのすり合わせが終わり、了解されれば委員改選がある来年4月にまでに整理をして引き継ぎが可能になるのでよろしく願う。自主的審議について資料の説明を事務局に求める。

**【恩田係長】**

・資料No.2により説明

**【町田会長】**

今迄やってきたものの中で、実際に活動している部分もあるのではないかという話が前回あった。協議会委員が課題として認識している部分と、町内会長の皆さんの認識のすり合わせが、これからの津有区の住みよいまちづくりに反映されていくのだと思う。

資料No.2に前回会議の発言がまとめてある。①の「少子高齢化が進む中で雄志中学校区全体で連携できるような仕組みを考えたい」については、雄志中学校区青少年育成会議が主体となって、「地域全体で行うあいさつ運動事業」を毎月10日に行っている。津有北部地区スポーツクラブが「津有北部地区健康増進地域活性化事業」を行っている。これは具体的には夏祭りか。

**【牧野嶋副会長】**

これは、グランドゴルフだ。今年10月に、諏訪区、高士区を招いてグランドゴルフ大会を行った。

**【町田会長】**

皆さん方が今迄やってきた中で、この中に入るものがあれば発言願う。

**【牧野嶋副会長】**

委員視察研修を高士区の地域協議会委員と合同で行ったので、連携ができたと思う。グランドゴルフ大会は高士区や諏訪区の方々も参加され、顔見知りになり楽しく、また来年も参加したいと思った。

中学校区の子どもたちの「あいさつ運動」は継続して行っており、地域活動支援事業を利用し、のぼり旗を作ったり、ジャンパーを作ったりしたが、連携の積み重ねが大切だ。同じ中学校に通う子どもたちの地域なので、地区の垣根がなくなるよう目指していくべきと感じている。

他にもう1つくらい何か取組みがあってもよいかとも思う。

**【町田会長】**

雄志中学校区の取組みに関しては、このような事業があるという話を私から報告させていただく。

**【服部委員】**

グランドゴルフの後の慰労会の時に、次は「高士区からやりましょう」との話もあり、当番制でこれからもっと盛り上がっていくのではないかと思う。自分たちの地区だけでやるのではなく、地域全体での連携になっていくのだと思う。

**【牧野嶋副会長】**

諏訪区の人たちも、来年の地域活動支援事業でグランドゴルフのセットを買おうという話をされていた。

**【町田会長】**

高士区はグランドゴルフの道具を持っているのか。

**【牧野嶋副会長】**

高士の体育協会が津有区のスポーツクラブに「一緒にやりませんか」と声をかけたことから始まり、毎年高士区と行っていた。三役が2～3年参加させていただき、面白いということで、今年地域活動支援事業に津有北部で提案したということだ。やってみると、ゲートボールよりも面白い。ゲートボールができる人は、誰でもできる。

今回は小学生も参加していた。室内でもできる。

**【町田会長】**

次に、②の「津有区の人口減少が進む中でも、津有区に引っ越しして来た方がいるので、その方たちに【津有区を選んだ理由】や【津有区の良い所】等を伺い、参考にしたい」については、現在該当する事業はないが、津有区に引っ越してきた理由を知るということは必要と思う。どのように集約していくのかを検討していきたいと思っている。

③の「地域団体と【地域の課題の共有】や【情報交換】を行い、出てきた課題を【地域活動支援事業】等を活用して解決していく」については、今まで地域協議会委員と町内会長との意見交換会や地域活動支援事業の募集説明会を実施してきた。実際、町内の安全安心活動の中で防犯灯のLED化を行ってきたことが、1つの成果と認識している。このことに関して、委員に意見を求める。

**【牧野嶋副会長】**

まだ、十分に理解されていないかもしれないが、町内会長の皆さんに知ってもらうという努力はしていると思う。

**【町田会長】**

町内会長の間で、予算を付けてもらってありがたいという話を聞いている。LED化事業は最初2か年計画で動いてきたが、他の事業との絡みの中で3か年で動いてきた。

④の「若い世代を地域へ呼び込む仕組みをしたい」については、今のところ地域活動支援事業を活用した取組みはない。この辺について、②と絡めてどのように検討したらよいか。

**【牧野嶋副会長】**

②と④は、少子高齢化につながる部分がある。これは次年度以降に引き継いでいきたい議題だと思う。永遠の課題であり地域で話合っていかなければいけないと思う。そのためには、若い人たちや引っ越してきた人たちの意見の情報分析を続けていかなければいけないと感じる。どうしてこの地域に引っ越してきたのか、地価が安かったとか、学校が近かったとか、病院が近かったとか色々な理由があると思うが、そういったものを数値化できれば良い情報になるかと思う。この地域の弱み強みを見据え、引き継いでいかなければならないと思う。

**【古川委員】**

⑤の話になるが、前回会議でアンケートの話が出た。諏訪地区で実施されたアンケートを参考にして、全世帯を対象に行ったらどうか。地域住民が津有区に何を望んでいるのか、何が欲しいのか、欲しい施設ややりたいスポーツなどを項目に入れ、高齢者対象の項目と、引越してきた人を対象とした項目を入れたアンケートを実施すれば、ある程度の基礎資料ができると思う。

**【牧野嶋副会長】**

高士区の協議会で若い人たちの声を聞きたいという会を催している。実際の声は、町内役員の若手の声だと思う。本当は裾野を広げて声を聞きたいのだが、若い世代というのは自治に興味がない、選挙へも行かない人が多い。そういった状況の中で、どうやって集めるのかという方法論になる。

今度行う中学生のワークショップで、ネタ作りのために中学生全員と親御さんからアンケートを採った。新規に引っ越ししてきた親御さん世代をターゲットにして「何故ここに引っ越してこられたのですか」という声を拾うことはできる。ターゲットの絞り方として、子どもに紙を渡し、親御さんからアンケートに答えてもらい、強制的に集めてしまう手段もあるかと思う。ただ全戸配布をしても特に若い世代からは集まらないと思う。

**【古川委員】**

あくまでアンケートで強制力がないのでやむを得ない。回答が集まった中から分析するもの。何もしないよりはよいと思う。

**【町田会長】**

それはそうだ。

**【牧野嶋副会長】**

もし、PTA世代を狙うのであれば、こういう事をしてまちづくりをやっていきたいという意見を出して、教育委員会を絡めたほうがよいと思う。

**【手嶋委員】**

ここを出してよい話題か分からないが、私の町内で雑草だらけの畑があって、隣接地の方から苦情が出ている。無償でもよいから畑を貸したいという人もたくさんいる。若い人で畑のやり方が分からなければ、隣近所の人がいくらでも教えてくれる。畑を貸したい人と畑をやりたい人とのマッチングができるような取組みを支援事業で目玉

事業にしてもらえればと思う。

**【丸山美和子委員】**

今の若い人は畑をしない。私の町内でも、皆畑を止めてしまって、後始末をシルバー人材センターにやってもらっている。シルバーさんもできなくなっている状態で、次を継ぐことが何もない。

**【手嶋委員】**

ある1件の方が畑が困ると話をしていたら、貸してほしいという人が出てきた。行政や報道でこういう土地があるとお知らせするのも1つだ。草だらけにせず、マルチングしたり除草剤を蒔いたりして、管理してくれればよいのだが。町内会長に申し出て、気をつけるように言ってくれと話をした人がいたようだ。私たちも年を取れば管理できない。

**【牧野嶋副会長】**

J Aや役所で貸し借りの仲介をしてくれるシステムはないのか。

**【丸山百合子委員】**

市で貸農園の募集をしているのを以前見たことがあるが、車で来てやるような人がいるのかどうか。

**【牧野嶋副会長】**

やっている人もいる。

**【丸山百合子委員】**

そうするとまた、道の問題が出てくる。そういう人は雨が降っても来るので、そうすると道に溝ができてしまう。

**【古川委員】**

私は自分の家で作った野菜を近所に配ったりするのだが、若い人は共働きなので夕方に帰って来る。土が付いている野菜は使わないで、スーパーで洗ってある野菜しか使わないそうだ。親が作った野菜も使わないらしい。畑以前の問題だ。

**【町田会長】**

今の話については、仮に畑の遊休地がある場合に、それを活用するような人がいるのかどうか、というようなアンケートの採り方になる。やるつもりはないとか、そんなことは考えていないなど、色々あると思う。

いずれにせよ、今言われたような課題は見えてきているのだが、それをどのように

処理していくかという部分については、アンケートや住んでいる人の考え方を把握しないことにはできない話だ。JA等に紹介してもらうのか、各町内でやるという話になるかは分からないが、空いている畑を使うニーズがあるのかないのかということアンケートで把握することは可能と思う。

**【服部委員】**

それと逆に、もしあれば借りたい人がいるのかどうか。

**【手嶋委員】**

どういう条件だったら貸して作ってもらいたいのか、どういう条件だったら作りたいのか。

**【町田会長】**

アンケートもなかなか難しいのだが、あまり細分化せずに大雑把な掴み方もあるのだらうと思う。その辺は諏訪区で実際行った実績があるということなので、指導してもらいながら、アンケートの内容を積み上げていくという格好になると思う。

**【牧野嶋副会長】**

方法として、1番人に知らせるのに効果があると思ったのは、セブンイレブンにポスターを貼る。それと、若い世代は子どもの予防接種などで意外と広報上越を見るので、広報上越の毎月の所にチラシを挟んで全戸配布する。

**【町田会長】**

チラシを挟むのはよいかもしれない。

**【牧野嶋副会長】**

回覧版では若い世代は見ないと思うので、そういう方法もある。

**【町田会長】**

畑の遊休地があって困っている町内があるのかというのは、アンケートか何かで把握しないと見えてこない。今の話は、⑤のアンケートの話と②と④の関係だ。アンケートについて、恩田係長の経験からどうか。

**【恩田係長】**

諏訪区では若年層の意向を汲み取りたいということで、中学生以上の全ての住民を配布対象としてアンケートを実施している。諏訪区の人口は約1,000人であるが、小学生以下や福祉施設に入られている方の人数を差し引き、およそ850部のアンケートを配布している。



アンケート中の質問項目は、中越地震で大きな被害のあった長岡市の川口地域のNPOが過去に実施したアンケートを下地にし、諏訪区地域協議会委員の皆さんで話し合った結果を反映させた。アンケートは昨年の12月上旬に配布し、締め切りを今年の1月5日にした。

この類のアンケートは20～25パーセント程度の回収率となれば良い方かと思うが、諏訪区地域協議会委員や町内会役員等が中心になり、アンケートを提出するよう地域ぐるみで声掛けをした結果、45%の高回収率となった。アンケートの結果は1か月弱で集計し、地域の方を集めて集計結果を報告する機会を設けた。また、地域協議会だよりで主だった項目の集計結果をダイジェストで掲載してお知らせした。

アンケートには「諏訪区であったらよいなと思うイベント」について自由に記載いただく項目も設けた。そして、回答の中には地域活動支援事業を活用すれば、すぐに実現可能な取組みも多くあり、アンケートの結果を見た地域の有志が、今年度の地域活動支援事業に提案し、実施された事業もあった。

アンケートの結果を地域の取組みに繋げていこうという狙いもあったが、アンケートに答えていただくことによって、多くの方から地域のことを考えてもらうことを中心の狙いとしていた。諏訪区は津有区よりも人口の減少傾向が著しく、諏訪小学校の総児童数は来年から40人を割ってしまう。そのような状況の中で「諏訪の現状を知っていますか」「地域のことを考えてみませんか」「何ができると思っていますか」と、アンケートに答えながら地域のことを考えていく形で設計した。諏訪区と異なり、津有区は人口規模も世帯数も多いが、決してできないことではないと思う。ただし、事務作業は結構なボリュームになるので、地域の方に相当な作業負担が生じる覚悟が必要と思う。

また先程、市民農園の話があったが、アンケートでニーズを問うことも可能と思う。皆で質問項目を考え、アンケートの設計をしていくこと、自体が地域振興に繋がっていく効果も期待できる。

#### 【牧野嶋副会長】

そのために意見協議ができるわけだから、何のためにやるのかを最初にしっかりと決めたほうがよい。

#### 【町田会長】

皆さんのお考えを発言願う。

**【服部委員】**

年寄りばかりが答えるよりも、ある程度若い年代層の回答があったほうがよいと思う。幼稚園や中学生も大事と思う。世帯に配るなら、1世帯に5人いれば5通か。

**【恩田係長】**

諏訪区でも配布するときに、家族全員分を入れている。

**【町田会長】**

諏訪区は1,000人くらいだが、津有区は5,000人だ。10代、20代、30代と分け、各町内に割り振り依頼して預ければ、世帯数は800~900程度と思うので、対応できるかと思う。

**【古川委員】**

各人ではなく各世帯に1枚にして、家族会議でまとめた意見を書いていただくのもよいと思う。隣の家に来て、うちには来なかったというと不公平になる。

**【町田会長】**

全世帯に配る。10代の人がいる家は10代の方の意見を出してもらうよう依頼する。

**【牧野嶋副会長】**

大体が爺ちゃん、婆ちゃんに書いておいてくれということになる。

**【古川委員】**

次の⑥にもあるが、お年寄りの意見も聞かないといけない。

**【町田会長】**

やり方は改めて詰めることにして次の⑥に入る。

次の⑥の「お年寄りが徒歩で気楽に通えるようなサロン等の仕組みを検討したい」については、「津有地区地域づくり事業」はどんな活動をしているか知っている人はいるか。

**【丸山美和子委員】**

ファームセンターでやっている。

**【太田委員】**

社会福祉協議会も来ているし、運動推進委員と食推さんも来て、体操したりしている。

**【牧野嶋副会長】**

サロンを紹介するような冊子やチラシがあれば、情報を伝えることができる。

**【町田会長】**

前回会議でも、そのような冊子やチラシを出したらどうかという話があった。

**【丸山美和子委員】**

広報上越に載っていたということで、牧区からバスに乗って藤塚の「ぬくもりサロン」に来ているお爺さんがいた。以前は子安の「こどもの家」に行っていたそうだが不便だったので、藤塚にあることを知り参加したそう。

**【丸山百合子委員】**

先日、老人会でイベントカレンダーをもらったが、津有全部に配られたのか。

**【丸山美和子委員】**

それはファームセンターでやっているものだ。津有地区地域づくり協議会が絡んでいる。

**【牧野嶋副会長】**

やっているけど知らないものが多いと思う。

**【町田会長】**

ここに書いてある「野尻・稲地区高齢者いきいき事業」は、テレビとDVDデッキを地域活動支援事業で買ったが、これは今年も引き続き活動している。先日、健康教室ということで市の健康づくり推進課の職員から来ていただいて、健康診断後、少し運動をした後に、お茶飲みをしていた。冬場には輪投げ大会も2回くらいやっていてサロンのようなことをやっている。

「公共花壇管理による世代間交流事業」は小学校の前の花壇をやっている。

**【丸山百合子委員】**

この間は小学校の6年生が来て、一緒にチューリップ植えをした。

**【町田会長】**

「公共花壇による高齢者の健康増進と環境保全・まちづくり事業」では、皆が集まればその後話し合いなどをやっているようだ。そういう機会を増やしていきたいということだ。その中で各町内の催しの開催案内のカレンダー的を配布できるようになればありがたいと思う。

**【牧野嶋副会長】**

やるとしたら地域づくり協議会ではないか。地域づくり協議会の総会で提案しては

どうか。

**【町田会長】**

12日の町内会長との意見交換会で投げかけてみて、できないと言われてしまったら。

**【牧野嶋副会長】**

最初からできないと言っていたら何もできないので、まずは話してみよう。

**【手嶋委員】**

そういうのを聞いていけば、お互い刺激になるかもしれない。

**【町田会長】**

これについては話をしたいと思う。

最後に⑦の「夫婦や家族が交流できるような地域イベントを検討したい」については、「津有地域づくり事業」で健康ウォークもあるし、「津有北部地区スポーツクラブ夏祭り開催事業」では夏祭りやっているので色々な家族で交流できる。「下富川地区子供健全育成事業」と「桐原地区子ども健全育成事業」では遊具を購入して、地域の方々に活用していただくことで地域の方の交流ができるということで報告していきたい。

全体を通して、12日の町内会長との意見交換会で、今の関係で報告して欲しい内容があれば意見をお願いしたい。

**【小川委員】**

町内会長は地域で1番先頭に立って行動する方ですので、地域を相当よく知っていると思うので、町内会長と我々が上手く連携してやっていくことが大切だと思う。

**【牧野嶋副会長】**

12日の町内会長との意見交換会は結構大事ということだ。

**【服部委員】**

色々な意見を町内会長に聞いてみたい。

**【牧野嶋副会長】**

下池部も最近人口が増えているようだ。どうやって増えてきたのか町内会長さんから教えてもらいたい。

**【丸山百合子委員】**

私の地区は増えてきたが、空き家が増えてきた。

**【服部委員】**

何か夢や目標を話して、地域をより良くしようというプラスの方向で話ができる  
よいと思う。

**【手嶋委員】**

良いことだけでなく悪いこともあると思うので、教えてもらいたいと思う。先日、  
私の町内で会員になりたくないという若い人がいたが、それも勉強になると思う。空  
き家への受け入れも必要になると思うので、意見交換会時には正直な話をお互いし  
てもらいたいと思う。

**【牧野嶋副会長】**

津有区の5,000人からアンケートを採って、さらに50パーセントの回収率とい  
ったらもの凄いデータ量だ。地域協議会の発足当時だったと思うが、私と皆の意見  
に「この地域の志や風土を向上させていきたい」というような言葉があったと思う。  
地域協議会の存在意義はそこにあると思うので、諏訪区のようなアンケートを実施で  
きたら本当によいと思う。

**【古川委員】**

下富川では、20～30年くらい空き地になっていたところを区画して売りに出し  
たら、新たに5件入った。病院や学校も近く生活環境も良く、価格も手頃ということ  
だそうだ。20代～30代の子どもがいる世帯だ。空き家にも1件入ったが、不動産  
だけでなく親戚や知人から聞いた人もいたようだ。

市街化調整区域でも道路に面した土地は宅地転用できるようになった。地主が売り  
たくなければ無理だが、人口や世帯数を増やすということになれば、そういう方法も  
あると思う。

**【町田会長】**

そろそろ終了の予定時間になるため、今日の自主的審議は終わりとする。

- ・地域協議会だより：1月15日号の広報上越と併せて全戸配布することとし、速報  
版は発行しない。
- ・次回の協議会：1月19日火曜日、午後6時30分から公民館津有分館  
事務局に連絡を求める。

**【恩田係長】**

- ・町内会長との意見交換会：12月12日（土曜日）午後2時から
- ・地域活動フォーラム：12月13日（日曜日）午後1時30分から

- ・地域協議会の見直しの今後のスケジュールについて報告

**【町田会長】**

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。